

フィリピン・ダバオ市との環境国際協力について

1 これまでの経緯

- (1) 平成 27 年 7 月～平成 28 年 5 月：廃棄物発電施設導入に係る基礎調査実施
- (2) 平成 28 年 11 月：北九州市長がダバオ市を訪問し、「戦略的環境パートナーシップ協定」締結
- (3) 平成 29 年 4 月～：JICA 草の根事業（廃棄物管理の向上支援）実施
- (4) 平成 29 年 11 月：ダバオ市長を北九州市に招聘し、「環境姉妹都市」締結
- (5) 平成 30 年 3 月：ダバオ市廃棄物発電事業の無償資金協力（ODA）の決定
(供与金額：50 億 1,300 万円、交換公文署名：3 月 20 日)
- (6) 平成 30 年 4 月～：環境省 JCM 事業（ダバオ市低炭素化計画策定支援）実施

2 主な活動内容

JICA 等の資金を活用して下記の事業を行ってきた。

(1) 現状調査

ダバオ市の廃棄物管理に関する現状の把握や法制度の調査を行い、廃棄物発電施設導入に向けた課題の洗い出しを行った。また、低炭素化の推進に向けて計画策定に係る調査を行っている。

(2) 人材育成

ダバオ市の行政職員の廃棄物管理能力向上に寄与するため、本市の経験や取組み事例を定期的にダバオ市の職員に講義し彼らの理解を深めた。また、ダバオ市の職員を本市に招聘し、本市の廃棄物管理を学んでもらった。

(3) 廃棄物管理の改善

ダバオ市の環境天然資源局と協力し、市民・事業者に対するごみ分別の啓発活動及び分別収集のモデル実施などによる廃棄物の減量化の取組みや、市民・事業者を対象とする廃棄物管理セミナーの開催などの活動を行った。

3 廃棄物発電施設に係る今後の予定

- (1) 平成 31 年春以降：廃棄物発電施設の入札実施
- (2) 平成 31 年夏以降：廃棄物発電施設の建設着工
- (3) 平成 34 年春以降：廃棄物発電施設の竣工及び運転開始



環境姉妹都市提携に関する覚書締結（平成 29 年 11 月）